

施策評価シート

施策等名称	観光まちづくりと連動した観光環境整備の推進	体系番号	0401010504
		主管課	観光課

1 施策基本情報

現状と課題	市内の観光客数、観光消費額は減少傾向にあり、平成3年のピーク時は観光客数が532.6万人であったが、平成29年は330万人となり、約4割減少している。旅行形態の変化や、観光客のニーズが体験型旅行へ需要が高まったことなどに対応できている、外国人観光客に対してもパンフレットや看板など観光環境が整備できていない。今まで、様々な角度から誘客促進を図り、遊歩道や駐車場、公衆トイレなどの施設整備や登山道整備を行ってきたが、今後の課題は、各エリアの戦略に合わせた施設整備、自然景観、農村集落景観の保全、外国人観光客の支援強化が必要になる。平成30年度に発足した「ちの観光まちづくり推進機構」の事業と同調した観光環境整備を進め観光によるまちづくりが必要である。
めざす将来像 (あるべき姿、基本的な考え方)	「健康と運動」をテーマとした施設や大自然を満喫できるハヶ岳など、茅野市の特色を活かし、各エリアの戦略に合わせた施設整備を推進する。また、茅野市が誇れる自然景観や、茅野市の暮らしをテーマとした地域の生活と深い関わりを持つ場所の風景などを残すために、自然環境を保全し、観光客と自然環境が共存できる環境整備を整えることを目的に観光環境整備を推進する。団体旅行から個人旅行へと変化している外国人観光客に対し、安心して滞在できるようにWi-Fi環境や看板等の整備、二次・三次交通対策など外国人観光客の対策を図る。

施策指標	指標名称		指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値
					2027年度目標値
	①	観光環境整備の推進	観光施設整備件数(件/1年間)	4	5
	②	自然景観、農村集落景観の保全、古民家の宿泊施設活用	自然景観、農村集落景観の保全に関わった事業の件数(件/5年間の累計)	0	10
	③	外国人観光客強化事業	海外観光客の緊急対応システムの構築実績	長野県にて実施	茅野市にて実施

施策の柱 1	名称	観光まちづくりと運動した観光環境整備の推進				主管課		観光課	
	詳細	「健康と運動」をテーマとした施設や大自然を満喫できるハゲ岳など、茅野市の特色を活かし、各エリアの戦略に合わせた施設整備を推進する。また、茅野市が誇る自然景観や、茅野市の暮らしをテーマとした地域の生活と深い関わりを持つ場所の風景などを残すために、自然環境を保全し、観光客と自然環境が共存できる環境整備を整えることを目的に観光環境整備を推進する。団体旅行から個人旅行へと変化している外国人観光客に対し、安心して滞在できるようにWi-Fi環境や看板等の整備、二次・三次交通対策など外国人観光客の対策を図る。							
	まちづくりの目標指標		指標の説明(単位)		計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業		区分
	1	観光環境整備の推進	観光施設整備件数(件/1年間)	4		5	1	観光施設整備費	実施
							2	観光施設維持管理費	実施
	2	自然景観、農村集落景観の保全、古民家の宿泊施設活用	自然景観、農村集落景観の保全に関わった事業の件数(件/5年間の累計)	0		10	3	観光振興支援事業費	実施
							4	観光まちづくり推進事業費	実施
	3	外国人観光客強化事業	海外観光客の緊急対応システムの構築実績	長野県にて実施	茅野市にて実施	5	観光誘客宣伝事業費	実施	
							6		
	基本政策間連携								
施策の柱 2	名称					主管課			
	詳細								
	まちづくりの目標指標		指標の説明(単位)		計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業		区分
	1						1		
							2		
	2						3		
							4		
	3						5		
							6		
	基本政策間連携								
施策の柱 3	名称					主管課			
	詳細								
	まちづくりの目標指標		指標の説明(単位)		計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業		区分
	1						1		
							2		
	2						3		
							4		
	3						5		
							6		
	基本政策間連携								

施策等名称	観光まちづくりと連動した観光環境整備の推進	体系番号	0401010504 観光課
		主管課	

2 指標等の推移と変動要因

体系区分		成果指標名	計画策定時	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
指標No.			中間目標値	実績値 / 達成率(実績値÷目標値)					
施策			4	5	3	9	16	27	44
1		観光環境整備の推進	5	100.00	60.00	180.00	320.00	540.00	880.00
変動要因等	2018年度	蓼科湖周辺の活性化事業に関し、二か所の整備を行ったため、件数が目標を達成した。							
	2019年度	今年度は諸要因により次年度への繰越事業が3件あったため。							
	2020年度	昨年度からの繰越事業(蓼科湖及び御射鹿池周辺整備)が完了。							
	2021年度	道の駅に面したピーナスラインの歩道移設工事とそれに伴う付帯工事が3件。その他、同じ場所で複数の工事を行ったため。							
	2022年度	各遊歩道の補修工事が9件。老朽化した公衆用トイレの部品交換工事を複数行ったため。							
	2023年度	各施設の老朽化が進み補修工事が増えた。特に、老朽化した公衆用トイレの部品交換工事等が増えたため。							
柱1			4	5	3	9	16	27	44
1		観光環境整備の推進	5	100.00	60.00	180.00	320.00	540.00	880.00
変動要因等	2018年度	蓼科湖周辺の活性化事業に関し、二か所の整備を行ったため、件数が目標を達成した。							
	2019年度	今年度は諸要因により次年度への繰越事業が3件あったため。							
	2020年度	昨年度からの繰越事業(蓼科湖及び御射鹿池周辺整備)が完了。							
	2021年度	道の駅に面したピーナスラインの歩道移設工事とそれに伴う付帯工事が3件。その他、同じ場所で複数の工事を行ったため。							
	2022年度	各遊歩道の補修工事が9件。老朽化した公衆用トイレの部品交換工事を複数行ったため。							
	2023年度	各施設の老朽化が進み補修工事が増えた。特に、老朽化した公衆用トイレの部品交換工事等が増えたため。							
柱1			0	2	12	14	6	5	1
2		自然景観、農村集落景観の保全、古民家の宿泊施設活用	10	20.00	120.00	140.00	60.00	50.00	10.00
変動要因等	2018年度	南北八ヶ岳保護管理運営協議会を中心としたシカによる樹木の食害対策、森林税を活用した景観向上のための伐採を実施した。							
	2019年度	ピーナスライン沿線の伐採について県補助により多く実施できたことと、古民家が4棟 completionした。							
	2020年度	ピーナスライン沿線の伐採及びシカによる食害対策を実施した。							
	2021年度	ピーナスライン沿線の伐採及びシカによる食害対策を実施した。							
	2022年度	ピーナスライン沿線及び湯みち街道沿線の伐採及びシカによる食害対策を実施した。							
	2023年度	ピーナスライン沿線の伐採を実施した。							
柱1			長野県にて実施	-	-	-	-	-	-
3		外国人観光客強化事業	茅野市にて実施	-	-	-	-	-	-
変動要因等	2018年度	緊急対応へのステップとして、平成30年度に茅野市観光案内所がJNTO認定外国人案内所のカテゴリ1として認定された。今後、カテゴリ2へとステップアップするにあたり、ちの観光まちづくり推進機構と協議していきたい。							
	2019年度	来年度、事務所を旧産業振興プラザ跡地に移転し、駅前観光案内所と併せ総合案内所としての機能を有することで、緊急対応できる体制を整えていく。							
	2020年度	7月に総合案内所の機能を有する駅前観光案内所をリニューアル整備。緊急対応できる体制が整えられた。							
	2021年度	外国人観光客受け入れ態勢について、ちのDMOと計画的に進めていきたい。							
	2022年度	12月に総合案内所の機能を有する駅前観光案内所をリニューアル整備をし、外国語対応の職員を採用した。							
	2023年度	外国人観光案内については、外国語対応の職員を2名体制で対応している。							

施策等名称	観光まちづくりと連動した観光環境整備の推進				体系番号	0401010504	
					主管課	観光課	

3 評価・改革改善

(単位:円)

項 目		2018年（前年度比）		2019年（前年度比）		2020年（前年度比）		2021年（前年度比）		2022年（前年度比）		2018年～2023年（総括）		
評価	投資額	事業費(円)	237,833,894		335,393,890	1.41	315,339,388	0.94	519,821,306	1.65	321,097,426	0.62	198,971,177	0.62
		うち一財(円)	175,009,709		214,911,484	1.23	184,071,388	0.86	181,361,664	0.99	17,646,800	0.10	3,578,000	0.20
		(2018年～2023年(総括)については2023年の実績を記載)			古民家再生事業の完了、総合パンフレット改訂及び夢科湖公衆トイレ整備により増額となった。		前年度、古民家再生事業及び夢科湖トイレ整備事業完了に伴う減額。		宿泊施設等応援事業「ちの割」、教育旅行宿泊施設支援事業の実施により増額となった。		宿泊施設等応援事業「ちの割」、教育旅行宿泊施設支援事業の縮小及び白樺湖廃屋の撤去事業完了に伴う減額。		宿泊施設等応援事業「ちの割」、教育旅行宿泊施設支援事業の完了に伴う減額。	
		増減理由 (一般財源前年度比±10%以上の場合に記載)												
		進捗評価	おおむね順調		やや遅れている		おおむね順調		おおむね順調		おおむね順調		おおむね順調	
総合評価		主な取組内容や成果	・夢科湖の遊歩道整備が進み、湖周の景観を楽しみながら一周できるようになった。 ・ハヶ岳の森林環境保全の課題であるシカの樹木食害について、初めて食害防止の樹皮ネット設置作業を実施することができた。		・夢科湖公衆トイレ整備工事が完了し、道の駅の要件を満たすことができた。 ・夢科湖公衆トイレ付帯工事、道の駅看板設置工事に若干の遅れが生じている。 ・古民家整備が完了し、インバウンドを含めた受入体制が整った。		・夢科湖公衆トイレ付帯工事、道の駅看板設置工事が完了した。 ・総合案内所機能を有する駅前観光案内所のリニューアル工事が完了した。		・道の駅横断歩道移設工事、横断歩道待機所設置工事、白樺湖遊歩道整備工事、登山口公衆トイレ協力金箱設置が完了。		(R4・総括評価共通) ・各公衆トイレの附帯工事、道の駅バイク駐輪所、西側駐車場整地付帯工事、車山、白樺湖、夢科遊歩道整備工事、追加登山口公衆トイレ協力金箱設置が完了。		・ハヶ峰駐車場整備工事、奥夢科登山口公衆トイレ屋根改修工事、各公衆トイレの附帯工、追加登山口公衆トイレ協力金箱設置が完了し、喫煙の課題のあった施設を整備することができた。	
		課題	・白樺湖周辺の公衆トイレの老朽化が進み、自然環境を楽しむための観光客にとって気持ちよく利用できるとは言えない状況である。 ・外国人旅行者の対応に必要と思われるWi-Fiや多言語対応ツールなどの整備が遅れている。		・夢科周辺の整備は整ったが、その他の白樺湖、車山周辺の整備が今後の課題である。 ・外国人旅行者の対応に必要と思われるWi-Fiや多言語対応ツールなどの整備が遅れている。		・外国人旅行者の対応に必要と思われるWi-Fiや多言語対応ツールなどの整備が遅れている。		・外国人旅行者の対応に必要と思われるWi-Fiや多言語対応ツールなどの整備が遅れている。		(R4・総括評価共通) ・外国人旅行者の対応に必要と思われるWi-Fiや多言語対応ツールなどの整備が遅れている。		・外国人旅行者の対応に必要と思われるWi-Fiや多言語対応ツールなどの整備が遅れている。 ・各公衆トイレの設備の老朽化により、小破修繕工事が増加している。	
改革・改善	改革・改善内容		・観光地公衆トイレの整備計画については、例えば白樺湖畔の活性化計画等の周辺地域全体の活性化計画と合せて検討し、年次的に今後の整備を進めていく。 ・Wi-Fiや多言語対応ツール等外国人旅行者等に向けた受入環境整備について、すぐに対応が難しいものについては、計画的な整備や対策を検討していく。		・観光地公衆トイレの整備計画については、例えば白樺湖畔の活性化計画等の周辺地域全体の活性化計画と合せて検討し、年次的に今後の整備を進めていく。 ・Wi-Fiや多言語対応ツール等外国人旅行者等に向けた受入環境整備について、すぐに対応が難しいものについては、計画的な整備や対策を検討していく。		・白樺湖畔の活性化を図るため、年次的に整備を進めていく。 ・Wi-Fiや多言語対応ツール等外国人旅行者等に向けた受入環境整備について、すぐに対応が難しいものについては、計画的な整備や対策を検討していく。		・観光地の整備事業について、ちのDMOが単協の意見を取りまとめ適切に進めていく。 ・Wi-Fiや多言語対応ツール等外国人旅行者等に向けた受入環境整備について、計画的な整備や対策を検討していく。		・観光地の整備事業について、ちのDMOが単協の意見を取りまとめ適切に進めていく。 ・Wi-Fiや多言語対応ツール等外国人旅行者等に向けた受入環境整備について、計画的な整備や対策を検討していく。		・観光地の施設整備事業について、単位観光協会の意見を取りまとめ適切に進めていく。 ・Wi-Fiや多言語対応ツール等外国人旅行者等に向けた受入環境整備について、地域の要望等を踏まえながら、対策を検討していく。	
	施策の柱等の重点化	重点化する施策の柱	1		1		1		1		1		1	
		重点事業	1		1		1		1		1		1	
		理 由	自然を活かした山岳観光や遊歩道を活用したトレッキングなどのフィールドを整備することで、地域資源を活かした旅行商品造成の幅が広がり、ソフト・ハードの双方の満足度向上につながるため。		自然を活かした山岳観光や遊歩道を活用したトレッキングなどのフィールドを整備することで、地域資源を活かした旅行商品造成の幅が広がり、ソフト・ハードの双方の満足度向上につながるため。		自然を活かした山岳観光や遊歩道を活用したトレッキングなどのフィールドを整備することで、地域資源を活かした旅行商品造成の幅が広がり、ソフト・ハードの双方の満足度向上につながるため。		自然を活かした山岳観光や遊歩道を活用したトレッキングなどのフィールドを整備することで、地域資源を活かした旅行商品造成の幅が広がり、ソフト・ハードの双方の満足度向上につながるため。		自然を活かした山岳観光や遊歩道を活用したトレッキングなどのフィールドを整備することで、地域資源を活かした旅行商品造成の幅が広がり、ソフト・ハードの双方の満足度向上につながるため。		自然を活かした山岳観光や遊歩道を活用したトレッキングなどのフィールドを整備することで、地域資源を活かした旅行商品造成の幅が広がり、ソフト・ハードの双方の満足度向上につながるため。	

作成担当者	五味 健太郎	五味健太郎	渡辺 雄一	渡辺 雄一	長岡 精	長岡 精
最終評価責任者	五味 正忠	五味 正忠	五味 正忠	柳沢 正広	柳沢 正広	岡角 敏行
最終評価年月日	2019年5月30日	2020年7月10日	2021年5月28日	2022年5月30日	2023年5月31日	2024年7月12日